

## 令和3年度第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議

□ 日 時

令和3年6月21日(月) 13:30～16:30

□ 会 場

郡山市立中央公民館 第2講義室

福島県教育委員会では、「本県の家庭教育推進上の大きな課題である『親の学び』を支援する」ことを目的として、平成26年度より「地域でつながる家庭教育応援事業」を実施しております。

事業計画の一つ目に「家庭教育応援プロジェクト」を位置付け、「福島県地域家庭教育推進協議会(年2回)」「地域家庭教育推進ブロック会議(各地区年2回)」「親子の学び応援講座」「家庭教育応援企業推進活動」を実施しています。

二つ目として「家庭教育応援リーダー育成事業」を位置付け、「家庭教育支援者全県研修」「家庭教育支援者地区別研修」により全県、及び各域内の家庭教育支援者の実践力向上を図っています。

県中教育事務所では、域内の家庭教育の現状を把握し、課題を整理した上で各地区PTA連合会、地域代表、企業代表等との連携により、各家庭における実践へとつなげるため、「地域家庭教育推進県中ブロック会議」を年2回開催しております。PTA連合代表、学校支援者、地域の子どもたちに関わっている諸団体代表、家庭教育支援者、企業の代表者等「推進委員」による協議を通して、学校・家庭・地域が連携し、家庭教育の推進、子どもたちの生活習慣の改善、課題解決に向けての実践的な活動がなされるよう取り組んでいます。

今年度の1回目となる本会議では、公益財団法人星総合病院 法人こども事業部 大町キッズベース 吉川和夫氏を講師に迎え、講話「大町キッズベースの取組について」をお話いただきました。後半は、県中域内の家庭教育の現状と抱えている課題について活発な情報交換を行ったあと、「地域や学校、各関係機関等における家庭教育上の現状と課題」というテーマで全体で協議を行いました。

### 【出席者】

- 県中ブロック会議 アドバイザー
- 家庭教育推進アドバイザー
- 須賀川市家庭教育インストラクター
- 特定非営利活動法人のびのび福祉会
- 郡山市主任児童委員
- 元須賀川市生涯学習インストラクター
- 郡山警察署生活安全課少年係
- 県中児童相談所 主任児童福祉司
- 田村市保健福祉部こども未来課 課長補佐兼子育て応援係長
- 郡山市PTA連合会副会長(郡山市立郡山第一中学校PTA会長)
- 岩瀬地区PTA連合会 会長(須賀川市立西袋第一小学校PTA会長)
- 石川郡連合PTA 会長(浅川町立浅川中学校PTA会長)
- 田村地方PTA連合会 会長(田村市立常葉中学校PTA会長)

□ 日 程

時 間	内 容	
13:30～	開 会 行 事	○ 主催者あいさつ ○ 所員自己紹介 ○ 日程説明
13:45～	経 緯 説 明 等	○ これまでの経緯説明と今年度の取組について
14:00～	講 話	○ 「大町キッズベースの取組について」 公益財団法人星総合病院 法人こども事業部 大町キッズベース所長 吉川 和夫 氏
14:45～	休 憩	
14:50～	協 議	○ 「地域や学校、各関係機関における家庭教育上の現状と課題」
16:15～	提 案	○ 「家庭教育応援プロジェクト（県中版）」について
16:20	閉 会 行 事	○ 御礼・諸連絡

□

## 講話 「大町キッズベースの取組について」

公益財団法人星総合病院 法人こども事業部 大町キッズベース所長 吉川 和夫 氏

○ 大町キッズベースの概要

乳幼児の一時預かり・放課後児童クラブ・様々な事情で学校へ行っていない児童生徒を対象としたフリースクール、その他体験活動やイベント、地域の皆様のボランティア活動など、乳児から高齢者の方まで、学びの場、地域多世代交流の拠点として様々な利用ができる施設である。

○ 大町キッズベースの基本コンセプト

「人が集う 切れ目のない地域の学びと遊び ～より元気に～」地域づくりの活動拠点

○ 大町キッズベースの主な事業

- ・ 一時預かり(保育活動、子育て支援)
- ・ 児童クラブほしくま(小さな体験の積み重ね)
- ・ 長期休業児童クラブ(たくさんの体験活動を)
- ・ フリースクールほしくま(自立、自分で決めて自分で行動)
- ・ アクティブ・キッズベース(年間を通し、地域とつながる体験活動)
- ・ 趣味の講座(充実した一日を、自分の力を地域に)
- ・ 食育関連事業(食の大切さを学ぶ)
- ・ イベントの開催(楽しい地域の集いの場)
- ・ こども食堂 みんなのキッチン(一人じゃない。周りに友はたくさんいる。)



大町キッズベースでは、子どもの一時預かり、児童クラブ、長期休業児童クラブ、フリースクール事業を通して、子どもたちに様々な体験をさせるとともに、自分で決め自分で行動させ、自立できる子どもを目指している。また、学びのサイクルを意識した趣味の講座、食育関連事業なども行い、学びと生きがいのステーションづくりを積極的に努めている。大人も子どもも利用する民間の公民館的な役割を果たしたいと考えている。

○ 家庭へお願いしたいこと

子どもを、どの目でみるのか？（みる 見る 観る 診る 看る 視る）

良いところを見つけようとして見ないと、良いところなどは見つからない。子どもの良いところを見て欲しい。そのために子どもの話をよく聞いて欲しい。

## 協議 「地域や学校、各関係機関における家庭教育上の現状と課題」

議長 県中ブロック会議アドバイザー 知野 愛 氏

○ 自己紹介及び家庭教育の現状と課題について情報交換

<アドバイザー、推進委員の意見>

- ・ 学校と地域を円滑に結びつける役割を果たす地域コーディネーターが地区により意識の差が見られるので、コーディネーターの資質向上を目指し、研修会等を計画的に実施してはどうかと思う。
- ・ 親の仕事が忙しく、中には長時間保育の家庭もある。子どもが十分な食事をとれているのか、また親は疲れていないのか等心配である。もっと子どもに向け合うゆとりが必要なのではないかと。アドバイザー 知野 愛 氏  
ではないか。保護者を支援する等地域のネットワーク事業などが必要であると思う。
- ・ 子育て支援があることを知ってもらうために、子育て支援リーフレット等を作成することも必要である。困っているが、どこに相談すればよいか分からないということもあるのではないかと。
- ・ 親が口や手を出しすぎるのではないかと。もっと一人でチャレンジさせてあげるようにしなければ自主性が育たない。自分一人で頑張ったことは褒めてあげることが大切である。
- ・ ほめることが一番大切である。しかし、ほめられて育ってきた親が少ない。そうすると親自身がほめ方が分からない。場合によっては、子どもと親の間に入って、子どもの良さや親の思いを伝える仲介的な支援をすることも必要なのではないかと。
- ・ 就学时健康診断時に、先輩保護者の話を聞く機会があると今後の見通しがもて参考になるのではないかと。
- ・ 家出や問題行動を起こす子どもには、周りに話を聞いてくれる大人がいない傾向がある。もっと親、大人は子どもに寄り添い話を聞くようにすることが大切である。
- ・ 一人親の家庭が増えている。親も子どもに向き合う余裕がない。そのような家庭に支援することが必要である。
- ・ 情報化社会において、子どもはもちろんのこと、親に対しても SNS についての研修の場が必要であると感じる。
- ・ 子ども会の加入者が減少しているとともに、役員になる親がいない。地域人材の育成に対する人材が不足している。地域の活動がスムーズに行えず、地域の絆が希薄化している。
- ・ 親が地域での協働活動ができなくなっている。SOS もなかなか出せない状況である。地域コミュニティーづくりが必要である。親同士が集まる機会が重要だと思う。今はオンライン等で集まることもできる。



# 提案・その他 「家庭教育プロジェクト（県中版）」について

## 「コミュニケーション！『家族で』『地域で』『学校で』」

『我が家のアクション』できることから取り組もう！

### Action1 子どもをほめよう！自分をほめよう！

- ・ ほめることは大事な子育てツールです。
- ・ たくさんほめてあげましょう。そして、がんばる自分もほめてあげましょう。
- ・ ありがたいの気持ちを言葉で伝えましょう。

### Action2 我が家の「メディアコントロール」

- ・ メディア機器の使い方の約束を決めましょう。
- ・ ノーメディアコントロールデーを決めてチャレンジしてみましょう。
- ・ 持たせることに親は責任をもちましょう。
- ・ 持ったら子どもも自己責任をもちましょう。
- ・ 親もスマホを置く勇気をもちましょう。

### Action3 家族で「話そう」～我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

- ・ 明るい家庭は、ふだんの家族の会話から。
- ・ たくさん話して、しっかり聞きましょう。
- ・ 一緒に運動をしたり活動をしたりする中で会話を楽しみましょう。
- ・ 親子で一緒に「家読」をしてみましょう。

### Action4 ひろげよう「あいさつ」の輪

- ・ あいさつは家族・社会の一員としての第一歩。
- ・ 「おはよう」から一日をスタートしましょう。

### Action5 「早寝早起き朝ごはん」国民運動

- ・ 規則正しい生活は子どもの健やかな成長の基本の基本
- ・ しっかり食べて、生活リズムを整えましょう。
- ・ 子どもの睡眠時間を確保しましょう。

#### ◎ 今後の取組について

- 今年度も「家庭教育応援プロジェクト（県中版）」「我が家のアクション」を学校、PTA、家庭教育応援推進活動登録企業へ配付して家庭教育の推進を図っていく。
- 12月4日（土）の県中域内家庭教育支援者育成研修会に可能な方はぜひ参加し研修を積んでいただきたい。
- 域内の企業に「家庭教育応援企業推進事業」について啓発をし、登録を呼びかける。
- 各推進委員それぞれの立場で県中の課題を解決できるよう実践、支援していく。
- 1月24日（月）に第2回の県中ブロック会議を行い、今年度の各自の取組について発表を行う。
- 「親子の学び応援講座」にも参観可能な推進委員はぜひ出席していただきたい。

令和3年度 地域でつながる家庭教育応援事業  
家庭教育応援プロジェクト（県中版）  
～学校・家庭・地域が連携して家庭教育を推進～

### 「コミュニケーション！『家族で』『地域で』『学校で』」

～『家族で』『地域で』『学校で』～

県中教育事務所主催「地域家庭教育推進県中ブロック会議」では、平成23年度より「福島県地域家庭教育推進協議会」（県教委主催）と連携を取りながら、県中地区の家庭教育に関する現状や課題について協議し、家庭の教育力・子育て力の向上のための手立て等について検討してまいりました。

これまでの協議から、子どもたちが健やかに成長していくために必要不可欠である基本的な生活習慣を身にさせるためには「コミュニケーション」がキーワードではないかと考えました。

「家庭の中のコミュニケーション」「地域の中のコミュニケーション」「学校の中のコミュニケーション」を「子どもが健やかに成長していくために必要不可欠である基本的な生活習慣を身にさせるためのコミュニケーション」をキーワードとして、子どもたちの健やかな成長につながるものではないかと考えました。

子どもたちの未来のために、できることから取り組んでいきたいと思います。

【家族参加でコミュニケーション！】  
『我が家のアクション』できることから取り組もう！

地域家庭教育推進県中ブロック会議からの提案

**Action1 我が家の「ノーメディアデー」**  
メディア機器の使い方の約束を決めましょう！  
ノーメディアデーを決めてやってみよう！  
持たせることに親は責任をもちましょう！  
持ったら子どもも自己責任をもちましょう！  
親もスマホを置く勇気をもちましょう！

**Action2 家族で「話そう」～我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～**  
明るい家庭は、ふだんの家族の会話から！  
たくさん話して、しっかり聞きましょう！  
一緒に運動をしたり活動をしたりする中で会話を楽しみましょう！  
親子で一緒に「家読」をしてみましょう！

**Action3 子どもをほめよう！自分をほめよう！**  
ほめることは大事な子育てツールです。たくさんほめてあげましょう！  
そして、がんばる自分もほめてあげましょう！  
ありがたいの気持ちを言葉で伝えましょう！

**Action4 ひろげよう「あいさつ」の輪**  
あいさつは家族・社会の一員としての第一歩！  
「おはよう」から一日をスタートしましょう！

**Action5 「早寝早起き朝ごはん」国民運動**  
規則正しい生活は、子どもの健やかな成長の基本の基本！  
しっかり食べて、生活リズムを整えましょう！  
子どもの睡眠時間を確保しましょう！

地域家庭教育推進県中ブロック会議

令和3年度地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクト（県中版）  
「コミュニケーション！『家族で』『地域で』『学校で』」

家族で話し合い、1年間取り組むことを決めてみませんか。  
5つの【Action】を参考に、右様の『我が家のアクション』に記入していきましょう。

Action: 『我が家のアクション』できることに取り組もう！

**Action1: 我が家の「ノーメディアデー」**  
子どもと一緒に、メディア機器の使い方の約束を決めよう  
家族で相談して「ノーメディアデー」を決めてやってみよう  
持たせることに親は責任をもち  
持ったら子どもも自己責任をもち  
親もスマホを置く勇気をもちよう

**Action2: 家族で「話そう」～我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～**  
会話を増やそう。話すことを楽しもう  
話を聞くときはしっかりと顔を向けてあげよう  
運動や体験をいっしょにしよう  
親子でいっしょに「家読」をしよう

**Action3: 子どもをほめよう！自分をほめよう！**  
できたことを認めてあげてたくさんほめてあげよう。  
がんばっているのはあなたもいっしょ。自分のこともたくさん褒めてあげよう。  
「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えよう。

**Action4: ひろげよう「あいさつ」の輪**  
家庭で、地域で、職場や、学校などであいさつをしよう。  
あいさつで一日をスタートしよう。

**Action5: 「早寝早起き朝ごはん」国民運動**  
朝ごはんを一緒に食べよう  
親子で食事の準備をしよう  
朝ごはんを食べる時間を決めよう！  
目覚め後の目覚めから脳が活性化することを意識しよう。  
子どもは寝る準備を促してあげよう  
※ 寝る子は育つ「身体も心も学力も」  
※ 成長ホルモンは、夜10時頃～朝6時頃まで分泌される  
※ 睡眠後7～8時間あたりで起床がよいとされている

毎月第3日曜日は「家庭の日」

